

先週のマーケット動向(2月19日~2月23日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,333.5	1,339.3	1,327.0	1,331.0	▲4.4
JPY/KRW	8.8894	8.9119	8.8250	8.8362	▲0.055
KOSPI	2,653.12	2,694.80	2,643.93	2,667.70	+18.94

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場はレンジ推移。週初1,333.5ウォンでオープンしたドル/ウォンはオープン後1,330ウォン付近まで下落するも、その後春節明け中国経済不安から香港株が軟調推移すると人民元も売られたことでウォンも連れ安となった。翌20日に中国でローンプライムレートが引き下げられたことを好感し、人民元の下落は一服。ドル/ウォンは1,330ウォン台後半で方向感乏しく推移した。22日には米AI関連銘柄の好決算を受けて株式が上昇。韓国株式市場も半導体関連銘柄を中心に買われ、ウォン買い需要から1,328ウォン付近まで下落した。この日行われたBOK会合では、9会合連続で政策金利の据え置きを決定。相場への影響は限定的だった。23日は下値圏で輸入企業による決済需要がみられ小幅に上昇。結局、ドル/ウォンは先週末比▲4.4ウォンの1,331.0ウォンでクローズした。

今週の見通し

今週のドル/ウォンはレンジ推移を予想。米ハイテク株の上昇は先週末一服感が出ており、為替市場は月末の需給環境による相場推移が想定される。米利下げ時期の後ずれが意識される中でドル/ウォンは上昇圧力がかかるものの、輸出企業のフローが上値を押さえる展開を想定。ドル/ウォンは1,330ウォン台を中心にレンジ推移が継続すると想定する。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1320 ~ 1350	8.75 ~ 9.05	148.5 ~ 151.5

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 26日(月) 米 1月 新築住宅販売件数
- 27日(火) 米 1月 耐久財受注 速報値
米 2月 カンファレンスボード 消費者信頼感指数
日 1月 CPI
- 28日(水) 欧 2月 消費者信頼感指数 確報値
米 4Q GDP 二次速報
- 29日(木) 米 2月 失業保険新規申請者数
日 1月 鉱工業指数 速報値
米 1月 個人所得
米 1月 個人消費
- 1日(金) 米 2月 ミシガン大消費者マインド指数 確報値
米 2月 製造業PMI 確報値
欧 2月 製造業PMI 確報値
中 2月 製造業PMI
中 2月 非製造業PMI
日 1月 失業率
米 2月 ISM製造業景況指数